

# 春日井互助会通信



2017年新年号



## 謹賀新年



田中葬具本店  
代表取締役 田中 博

皆様におかれましては、お健やかに

新年をお迎えのことと存じます。

近年ではお葬儀文化も大きく変わります。つあります。

自分らしいお葬儀を考える時代です。広告の金額の割安感のみで業者を決めて失敗しないよう、事前相談をして頂きたいと思えます。

できれば2・3社お話を聞いていただき、最後に当社にご来店頂ければ、必ず他社様とは「何かが違う！」と感じて頂けると確信しております。

社員一同、一丸となって精進してまいりますので、本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

法要専用ホールが  
オープン致します！

本年1月末頃に法要専用ホールがオープンいたします。

これまで以上にご利用者様に喜んでいただけますよう、精進いたしますので、宜しくお願い申し上げます。  
ご相談・ご依頼は田中葬具本店や春日井互助会からも承ります。

(完成予想図)



## お参りの仕方

神社に参拝に向かい、鳥居を潜る前に服装の乱れを整えます。

1. 鳥居を潜るときは鳥居やしめ柱の前で止まり、まず一礼。
2. 手水舎(てちょうず・てみずや)で手を清める。  
※水を汲むのは一回のみです。
3. いよいよ参拝  
神社に向かいますが、参道の中央は神様の通り道とされており避けて歩く事が礼儀とされています。
4. 神社「2礼2拍手1礼」
  - ①軽く会釈し賽銭を投げ、鈴をならす。
  - ②頭を深く2回下げます(2礼)
  - ③手を合わせ、右の掌を左手に対して少し引き、拍手(かしわで)を2回打ち(2拍)手を合わせます。
  - ④頭を深く下げます(1礼)
5. 鳥居を潜る時、向きを変えて、軽く会釈をして境内を出ます。

他に、初詣の帰り道は寄り道をしないでまっすぐ帰ったほうがいいそうです。

## 一年の計は元旦にあり

一年の計は元旦にありという諺を 新年によく聞く言葉です。その意味は、一年の目標や計画は、元旦に決めるのが良いということだったり、何事も最初に計画や準備が大切であり、初めの計画ができていないと物事はうまくいかないという意味の諺もあり、元旦の過ごし方で一年が決まるとも言われています。

戦国時代最高の智将といわれる毛利元就の言葉では  
「一年の計は春にあり、一月の計は朔(ついたち)にあり、一日の計は鶏鳴(一番鶏が鳴く早朝)にあり。」

何事も最初が肝心であるということを感じたとされ、中国の書物の「月令広義」の一説には

- 一日之計在晨(一日の計は晨(あした)にあり)
- 一年之計在春(一年の計は春にあり)
- 一生之計在勤(一生の計は勤にあり)
- 一家之在身(一家の計は身にあり)

一年の計は元旦にあり、まじめに努力することで、人生が決まり、身の振り方や生き方で、一家の将来が決まるという意味だそうです。

昨年までのことをリセットして、新しい年をどのようにしていくか、はたまた未来、将来まで決めることとなりますね！

